

## 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

## 有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失 (SAE742 r.7.0)	7.4.2-16, 17 添7.4.2.8-2	燃料評価に関する記載を適正化しました。	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失 (SAE742 r.7.0)	7.4.2-3, 4, 19, 20	アニュラス空気浄化系ダンパの操作が手動開操作から代替空気供給操作に変更となったことから記載を変更しました。	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失 (SAE742 r.7.0)	7.4.2-22 添7.4.2.7-3	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 評価結果を厳しくするように、定期検査工程上、原子炉停止から1次冷却材水抜き開始までの時間として考えられる最短時間に余裕を見た時間として設定。原子炉停止後の時間が短いと崩壊熱が大きくなり、1次冷却材の蒸発率も大きくなることから、1次冷却系保有水量を確保しにくく厳しい設定。 (新) 評価結果を厳しくするように、燃料取出前のミッドループ運転中の事故を想定し、そのうち、炉心露出の観点から炉心崩壊熱と1次冷却系保有水量の最も厳しい組合せとなる1次冷却材水抜き完了時に事故が発生するものとする。したがって、定期検査工程上、原子炉停止から1次冷却材水抜き完了までの時間として考えられる最短時間に余裕を見た時間として設定。原子炉停止後の時間が短いと炉心崩壊熱が大きくなり、1次冷却材の蒸発率も大きくなることから、1次冷却系保有水量を確保しにくく厳しい設定。	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失 (SAE742 r.7.0)	7.4.2-24 添7.4.2.4-1	概略系統図を以下のとおり修正しました。 ・アニュラス空気浄化系ダンパの操作が手動開操作から代替空気供給操作に変更となったことから記載を変更しました。 ・燃料タンク (SA) を追加しました。	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失 (SAE742 r.7.0)	7.4.2-25	フロー図を以下のとおり修正しました。 ・アニュラス空気浄化系ダンパの操作が手動開操作から代替空気供給操作に変更となったことから記載を変更しました。	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.2 全交流動力電源喪失 (SAE742 r.7.0)	7.4.2-26, 27	タイムチャートを以下のとおり修正しました。 ・アニュラス空気浄化系ダンパの操作が手動開操作から代替空気供給操作に変更となったことから記載を変更しました。 ・使用済燃料ピットへの注水確保 (海水)の要員を「災害対策要員3名+災害対策要員(支援)2名」から「災害対策要員6名+災害対策要員(支援)2名」に変更しました。	